

テーマ提案に際しての確認事項

2015.5.7

サマーデザインスクール2015実行委員会

テーマのご提案にあたって、次の事項をご確認し、同意いただけますようよろしくお願いいたします。

◆テーマについて

- 異領域、異文化の参加者が協働して問題発見や問題解決にあたることを想定したテーマ設計をお願いします。
- 昨年度の参加者・実施者のアンケートや、実行委員会フィードバックにおいて、次のような指摘を受けたテーマがありました。ご留意の上、テーマ設計を進めてください。
 - － 問題の具体性や、社会での実現性に乏しい。
 - － 3日間でのワークのボリュームを超えている（フィールドワークの時間が長すぎる、求めるアウトプットが多すぎるなど）。
 - － テーマが専門特化されすぎており、他分野の人には参加しづらい。
 - － タイトルやテーマ説明がわかりづらい。

◆テーマの実施について

- 当日のテーマワークがよりよいものとなるよう、いただいたテーマ提案に対して、サマーデザインスクール実行委員会よりフィードバックをさせていただきます。内容の一部修正をご検討いただく場合がありますが、ご対応をお願いします。
- 会場のキャパシティを超える数の提案をいただいた場合などに関しましては、テーマ実施をお断りする場合があります。また、参加希望者が少ない場合には実施できないことがあります。以上、ご了承頂きますようお願いいたします。
- 各テーマの参加者数は、原則として4名以上、6名以下となります。

◆費用について

- 主催者は、実施者や参加者の旅費、謝金、物品代等を負担しません。テーマに特有の別途必要となる費用は、当該テーマの実施者の所属機関に負担していただきます。
- テーマ実施や参加は、サマーデザインスクール主催・共催団体所属の方が優先されます。今年度は、主催・共催団体所属の方以外からのテーマ提案については、実施料10万円を申し受けます。サマーデザインスクールの運営には1テーマあたり10万円程度の実費がかかっておりますので、サマーデザインスクールの自立運営のため、ご理解くださいますようお願いいたします。
- 企業の方につきましては、「デザインイノベーションコンソーシアム」会員 (<http://designinnovation.jp/about/members.html>) 以外の企業の方からは10万円を頂戴いたしますので、この機会にコンソーシアムへの入会を検討頂くようお願いいたします。
- またサマーデザインスクールの自立運営のため、今年度からコーヒーブレイク代として、参加者一人あたり1,000円を徴収します（実施者からは徴収いたしません）。

◆知財について

- テーマワークで新規に生じたアイデア（特許権の対象となる発明及び実用新案権の対象となる考案並びにこれらを構成するものをいい、意匠権の対象となる意匠の創作を除く。）については、共創の場としての性格上、既に産業財産権が出願されているものを除き、公知のものとして扱い、その活用は自由とします。なお、テーマワークで新規に創作された意匠に係る意匠登録を受ける権利については、当該テーマの参加者に等しく帰属するものとし、参加者の所属機関、実施者、実施者の所属機関には帰属しないものとします。
- テーマの実施のために必要となる既存の知財・研究成果・データ等は、当該テーマの実施者から当該テーマの参加者に予め明示してください。ただし、当該知財・研究成果・データ等に関する秘密保持契約（NDA）を参加者に求めないでください。
- テーマの実施において機密情報を扱わないでください。機密情報の漏えいに関して、主催者は一切責任を負いません。

◆プロセスおよび成果の記録と公開について

- サマーデザインスクールにおけるテーマワークのプロセスおよび成果は、記録・分析・アーカイブさせていただきます。
- その記録を、サマーデザインスクールの Web ページや、「京都大学 ICT イノベーション」(<http://ict-nw.i.kyoto-u.ac.jp/ict-innovation/>) における展示、主催・共催団体の Web・ニューズレター・各種展示、論文等を通じて公開させていただく場合があります。

◆その他の注意事項

- テーマワークをフィールドで実施する場合など、参加者に対する安全対策等が必要になる場合は、当該テーマの参加者に保険への加入を促してください。主催者は、本スクールの会場以外で実施された場合に発生した事故については責任を負いません。
- 実施者や実施者の所属機関が、当該テーマの参加者に対して、今回のテーマの実施に係らない連絡を、サマーデザインスクールの名を用いて行うことを禁止します。